

新型コロナウイルスワクチン追加接種のお知らせ

新型コロナウイルスワクチンは、2回目の接種後、時間が経つと有効性が低下するとされています。

ワクチンの効果を持続させるため、市では、国から示される方針に沿って、次のとおり追加接種(3回目)を行います。詳細は決まり次第、「広報わっかない」などで、お知らせします。

接種対象者／ワクチンを2回接種した、18歳以上の市民

接種時期／2回目の接種後、おおむね8か月以上経ってから

接種スケジュールの目安／

	令和3年		令和4年			
	12月	1月	2月	3月	4月	5月
医療従事者	→					
高齢者施設の入所者および従事者	→					
65歳以上の方	→					
上記以外の方	→					

カードサイズの接種済証を発行します

2回の接種を終えた方で、必要な方には、カードサイズの「予防接種済証」を発行します。

希望する場合は、市ホームページから申請書をダウンロードし、必要書類を添えて提出してください。

※本市で独自に発行するため、市外では証明書として利用できない場合があります。

実物大

問い合わせ

市新型コロナウイルスワクチン接種実施本部
(市健康づくり課)

☎ 0162 - 23 - 2700

メール vaccine@city.wakkanai.lg.jp

申請はお済みですか 子育て世帯生活支援特別給付金

感染症の影響が長期化する中、子育て世帯を対象に給付金を支給しています。まだ支給を受けていない方で、要件を満たす方は、期日までに申請ください。

養育する方で、下表の要件を満たす方
※令和4年2月末までに生まれた新生児も対象になります。
※給付金は、どちらか一方一度しか受けることができます。

給付額

対象児童1人につき

5万円

対象者

令和3年3月31日時点で18歳未満(障がい児の場合は20歳未満)の児童を

申請期日

令和4年2月28日(月)

問い合わせ

市子ども課子育てグループ
☎ 23・6529

対象要件

ひとり親世帯分	ひとり親世帯以外分
公的年金等を受給していることで、令和3年4月分の児童扶養手当の支給が、全額停止される方	公務員や高校生のみを養育している方等で、令和3年度住民税「均等割」が非課税の方
新型コロナウイルスの影響を受けて家計が急変するなど、収入が児童扶養手当を受給している方と同水準となっている方	新型コロナウイルスの影響を受けて家計が急変するなど、令和3年度住民税「均等割」が非課税の方と同様の事情にあると認められる方

事業者の皆さんへ わっかない事業者応援緊急支援金

令和3年8月から9月までの緊急事態措置により、影響を受けた事業者に対して、支援金を給付します。

とがわかる書類の写し
・通帳の写し
申請方法
必要書類を、市水産商工課へ提出してください。

対象

次の2つの要件を満たす者

① 市内に緊急事態措置の影響を受ける事業所を有する事業者

② 次のいずれかの支援金の支給を受けた事業者

a 国の月次支援金(令和3年8、9月分のいずれか)

給付金額

1事業者あたり20万円

必要書類

・給付申請書(市ホームページからダウンロードできます。市役所本庁舎、宗谷支所、沼川支所にも用意しています。)

・誓約書
・要件となる国または道の支援金の給付を受けたこと

申請期日

令和4年2月28日(月)

【即日消印有効】

給付時期
申請書類の審査後、順次支給します。

問い合わせ

市水産商工課商工・労働グループ
☎ 23・6467

こんにちは 市長です。

No.79



「二年を振り返って」

いよいよ師走を迎えましたが、元旦の「初日の出inてっぺん」の中止から始まった2021年、相変わらず新型コロナウイルスの感染拡大に、不安を抱え続けた1年でした。国内的には、1年延期しながらも7月から開催された「東京2020オリンピック・パラリンピック」が最大のイベントで、数々の感動に包まれました。市内出身の藤田選手も、メダルこそ逃しましたが、あの雨の中で力走する姿は、私たちにあって、次の大会への期待が高まった大会でした。また、2月の「カーリング日本選手権」、9月の「カーリング女子日本代表決定戦」は、テレビを通じて市内の知名度を高める役割を、十分果たしたのではないのでしょうか。

今年、このまちで長い間活躍され、市政功労表彰を受けた7人の方が亡くなりました。改めて、心から哀悼の誠を捧げたいと思います。しかも戦後の動乱の樺太から引き揚げられ、日本中に散り散りになった方の心の拠り所として活動された「全国樺太連盟」が、3月末をもって解散しました。樺太連絡船ゆかりの稚内としては、とても残念でしたが、これからも「樺太記念館」や様々なモニユメント等を、皆さんと一緒に守り続けていきたいと考えています。

10月に行った「花火大会」は、久しぶりにみんなの気持ちを一つにすることができました。来る2022年は、落ち込むことなく、再スタートの年ができるよう、お互い全力で頑張りましょう！

稚内市長 工藤 広